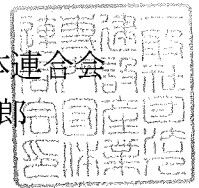


建専第29-26号  
平成29年9月27日

全国マスチック事業協同組合連合会  
会長 鈴木 浩之 様

一般社団法人 建設産業専門団体連合会  
会長 才賀 清二郎



### 安全対策の徹底について

建設現場における安全対策については、日頃から積極的に取り組んで来て居るところですが、建設業における働き方改革の取組が始まり、建設工事従事者の安全及び健康に確保に関する法律に基づく基本計画が策定され、官民挙げた取組がスタートした矢先に重大事故が続いたこと、また、労働災害の発生については、長期的には減少してきており、死亡事故についても昨年は過去最小となったものの、平成29年は、死亡災害が夏場に急増したことから、より一層、安全対策の徹底を図られるよう国土交通省、厚生労働省から要請がありましたので会員各位に周知徹底方お願い致します。

以上

平成29年9月14日17:00

於：土地・建設産業局局議室

- 最近、建設現場において立て続けに死亡事故が起きている。
- 亡くなられた方の中には若い方も含まれており、非常に痛ましいものと心を痛めている。
- 建設業においては、働き方改革の取組みが緒についたところであり、また、建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律に基づく基本計画が策定され、官民挙げた取組みがスタートした矢先であり、こうした重大な事故が続いたことはその取組みに水を差すことになりかねないもの。国土交通省としても事態を深刻に受け止めている。
- 言うまでもなく建設業にとって、何より大切なのは安全の確保。今後、建設生産プロセスの生産性の向上を図りつつ働き方改革を進めていくにあたっては、これまで以上に安全確保に意を用いることが必要。
- 原因究明は別途なされると考えるが、各団体においては会員企業がそれぞれの工事現場の安全確保をあらためて徹底するよう周知されることを要請する。

## 建設工事をめぐる最近の主な死亡事故

### ○（仮称）丸の内3－2計画新築工事現場

8月11日（金）16:20頃、同ビル新築工事現場（東京都千代田区）において、エレベーターシャフトに敷設された仮設デッキプレート（鉄板）が落下し、作業員3名が5階部分から地下3階部分まで約36m転落、死亡したものの。

### ○新名神高速道路建設現場

9月12日（火）4:15頃、橋梁工事現場（大阪府箕面市）において、足場解体中に作業員1名が高さ約28mの高所足場から転落、死亡したものの。

### ○東海北陸道建設現場

9月13日（水）10:00頃、橋梁工事現場（岐阜県高山市）において、支保工解体中に作業員1名が高さ約15mから転落、死亡したものの。

基安発 0922 第 2 号

平成 29 年 9 月 22 日

一般社団法人建設産業専門団体連合会会長 殿

厚生労働省労働基準局

安全衛生部長

( 公 印 省 略 )

職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請について

労働災害の防止につきましては、平素より格別のご協力を賜り深く感謝申し上げます。

労働災害による休業 4 日以上之死傷者数は、昨年は前年より増加し、平成 29 年も減少傾向がみられず、また、死亡者数は、昨年は 2 年連続で過去最少となったものの、平成 29 年は対前年比で 9.6% (8 月末現在) の増加となっており、極めて憂慮すべき事態です。

このため、別添のとおり、職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請をいたします。貴団体としての取組を強化いただくとともに、傘下の会員事業場への周知につきまして、特段のご配慮をお願いいたします。

## 職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請

労働災害の発生件数は、労使の皆様をはじめ、関係各位のご尽力により長期的には着実に減少してきており、特に死亡者数は、昨年は2年連続で過去最少となりました。しかしながら、休業4日以上の死傷者数は、昨年は前年より増加し、平成29年も減少傾向がみられない状況です。また、平成29年は死亡災害が夏場に急増し、対前年比で9.6%（8月末現在）の増加となっております。この傾向が続けば、死傷災害、死亡災害ともに前年に比べ増加という極めて憂慮すべき事態も十分想定されます。

特に、8月単月では、死亡災害は、前年同月比57.1%の大幅な増加となっており、ここ最近発生した死亡災害を個別にみると、基本的な安全管理の取組が徹底されていないことによるものが多数見られ、企業の景況感が改善する中、人手不足が顕在化し、安全衛生管理体制がおろそかになっている状況が懸念されます。

一方、第12次労働災害防止計画では、死亡災害、死傷災害ともに平成24年比で平成29年までに15%以上減少させることを目標としていますが、平成29年度が最終年度であり、上記の労働災害発生状況を踏まえると、相当の危機感を持って労働災害防止対策に取り組む必要があります。

労働災害は本来あってはならないものであり、特に死亡災害の撲滅を目指した不断の取組が必要です。また、労働災害のない職場づくりは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。事業者の皆様におかれましては、死亡災害の撲滅及び労働災害全体の減少に向け、基本的な安全活動の着実な実施・確認という原点に立ち返って企業の安全衛生活動を今一度総点検していただくよう要請いたします。

その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害防止に努めていただきますよう、併せて要請いたします。

- 1 安全作業マニュアルの遵守状況を確認するなど、職場内の安全衛生活動の総点検を実施すること
- 2 安全管理者、安全衛生推進者、安全推進者等を選任し、その職務を確実に遂行させるなど、事業場の安全管理体制を充実すること
- 3 雇入れ時教育等を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること

平成29年9月22日

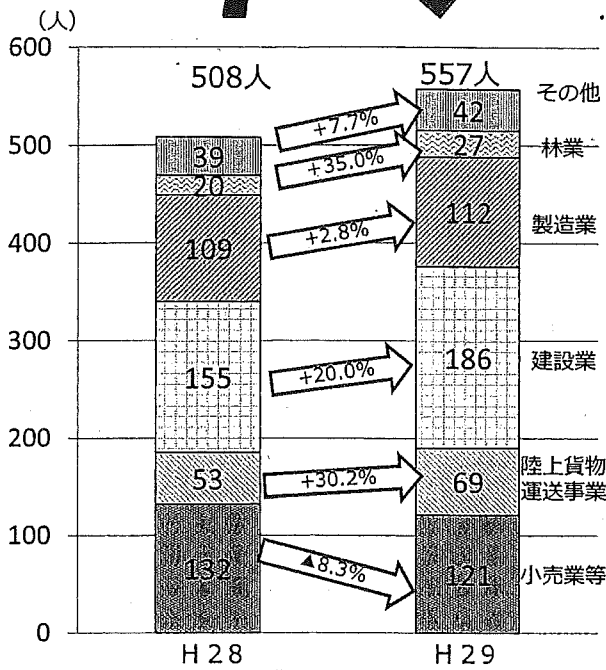
厚生労働省労働基準局

安全衛生部長 田中 誠二

# 労働災害発生状況（平成29年1月～8月の速報値）

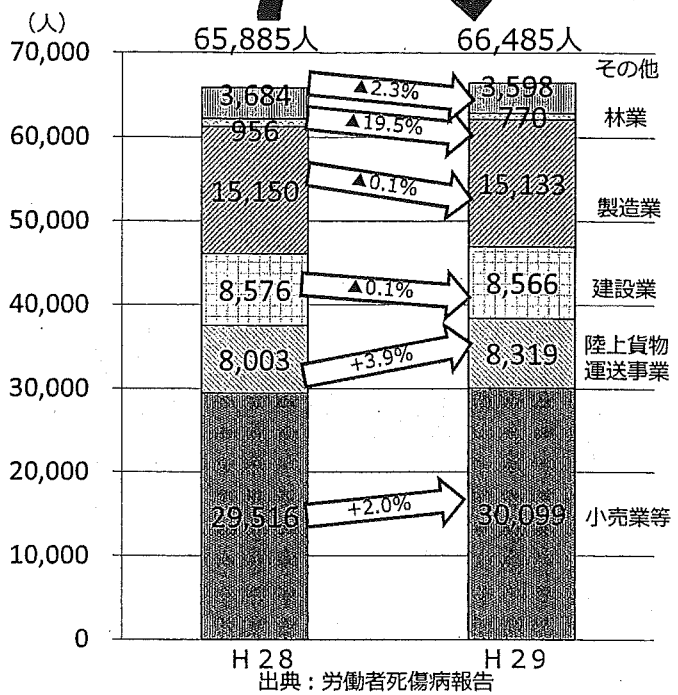
## 死亡災害

+49人(+ 9.6%)



## 休業4日以上之死傷災害

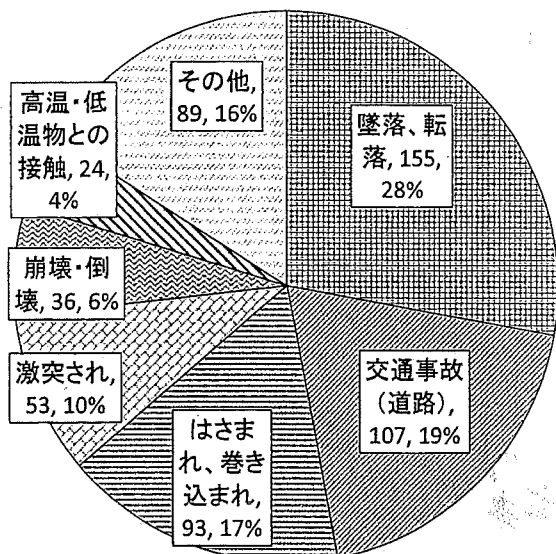
+600人(+0.9%)



# 事故の型別労働災害発生状況(平成29年1月～8月の速報値)

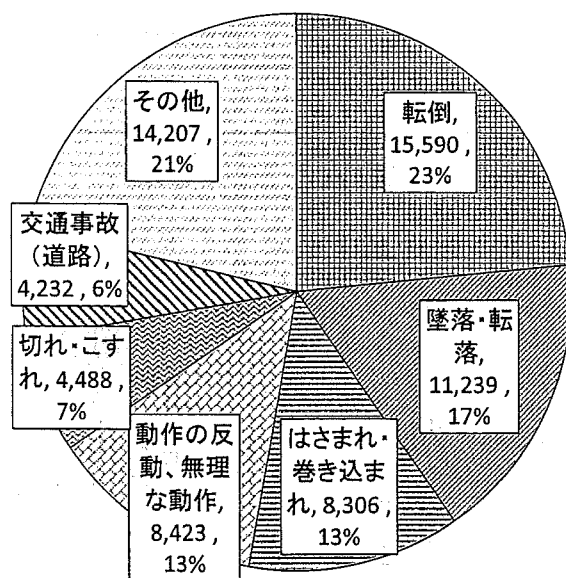
## 死亡災害

557人、前年同期比+9.6%



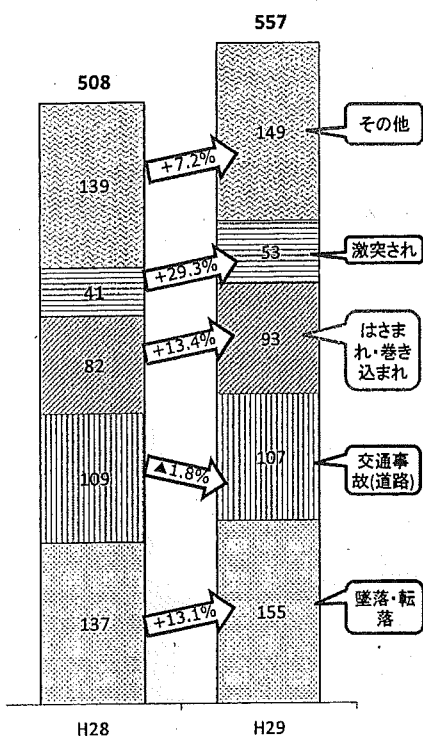
## 休業4日以上之死傷災害

66,485人、前年同期比+0.9%

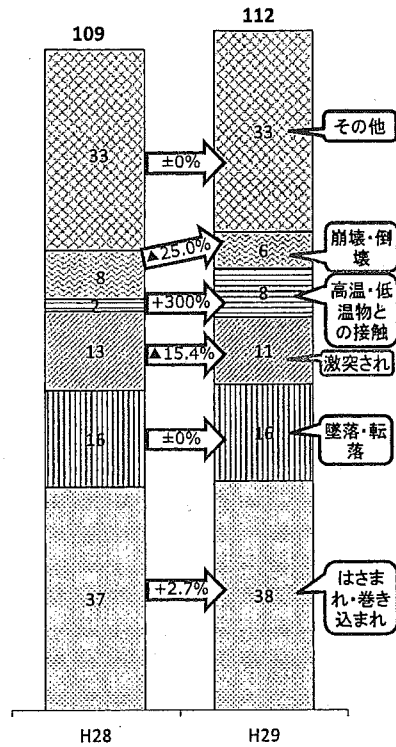


# 業種別死亡災害発生状況(平成29年1月～8月の速報値)

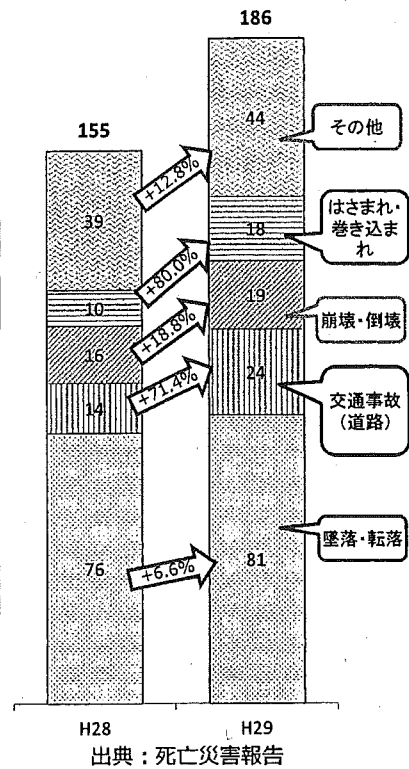
## 全産業



## 製造業



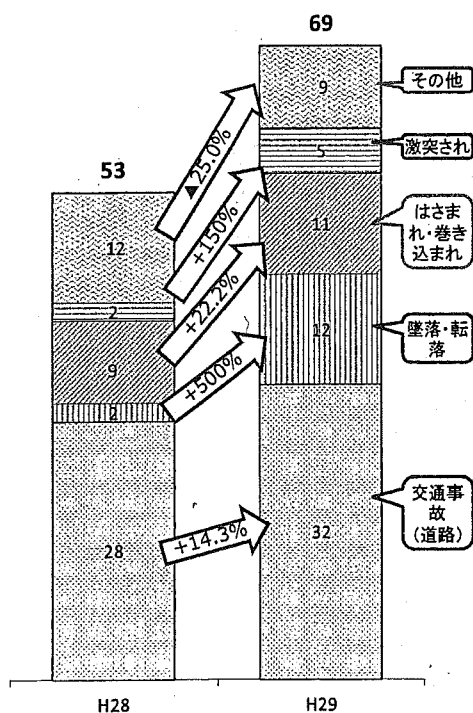
## 建設業



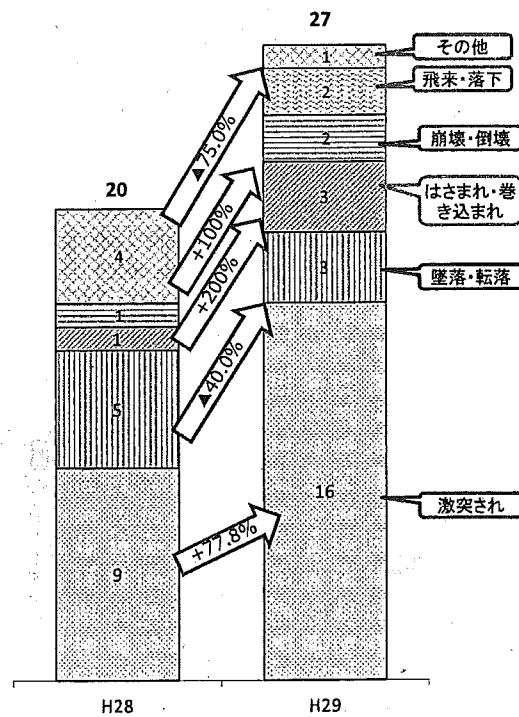
出典：死亡災害報告

# 業種別死亡災害発生状況(平成29年1月～8月の速報値)

## 陸上貨物運送事業

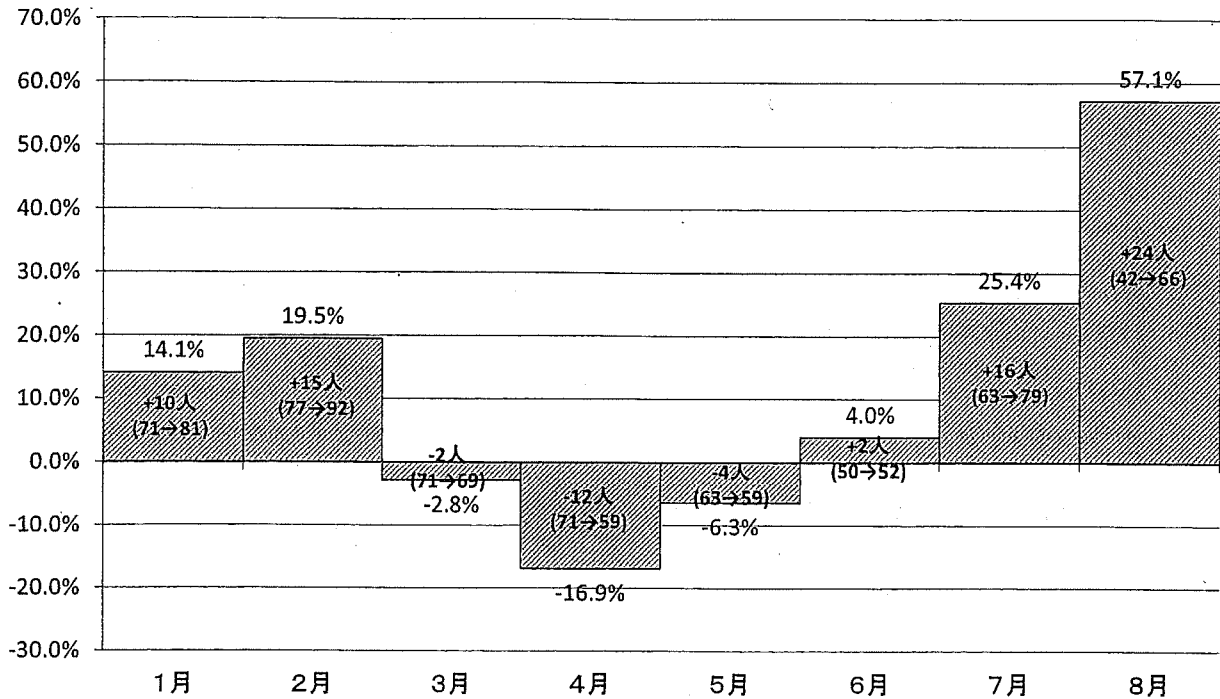


## 林業



出典：死亡災害報告

# 月別死亡災害発生状況 (平成29年1月～8月の速報値と平成28年同時期との比較)



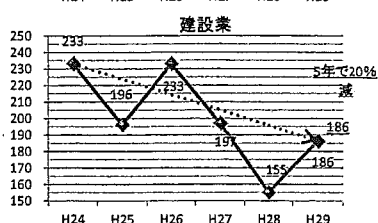
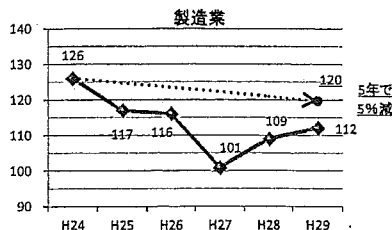
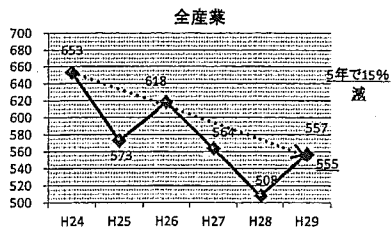
出典：死亡災害報告

## 第12次労働災害防止計画に関する状況(1月～8月の速報値の比較)

- 【目標】○ 平成29年までに、労働災害による死亡者数を15%以上減少させる (平成24年比)  
○ 平成29年までに、労働災害による死傷者数(休業4日以上)を15%以上減少させる (平成24年比)

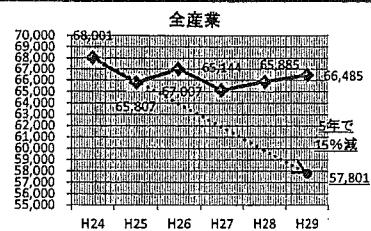
### 死亡災害

- 平成24年よりも14.7%減少
- 製造業は同11.1%減少
- 建設業は同20.2%減少

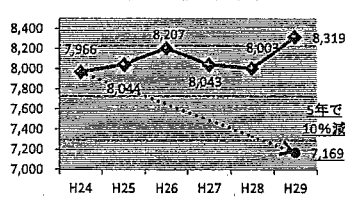


### 休業4日以上の死傷災害

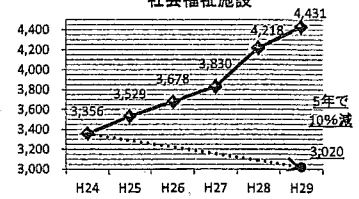
- 平成24年より2.2%減少
- 陸上貨物運送事業は同4.4%増加、小売業は同1.9%増加
- 社会福祉施設は同32%増加、飲食店は同12%増加



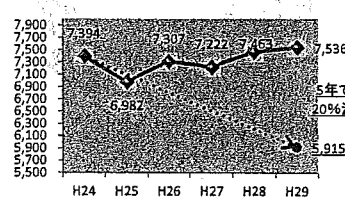
### 陸上貨物運送事業



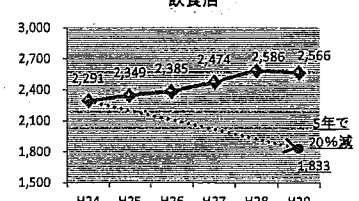
### 社会福祉施設



### 小売業

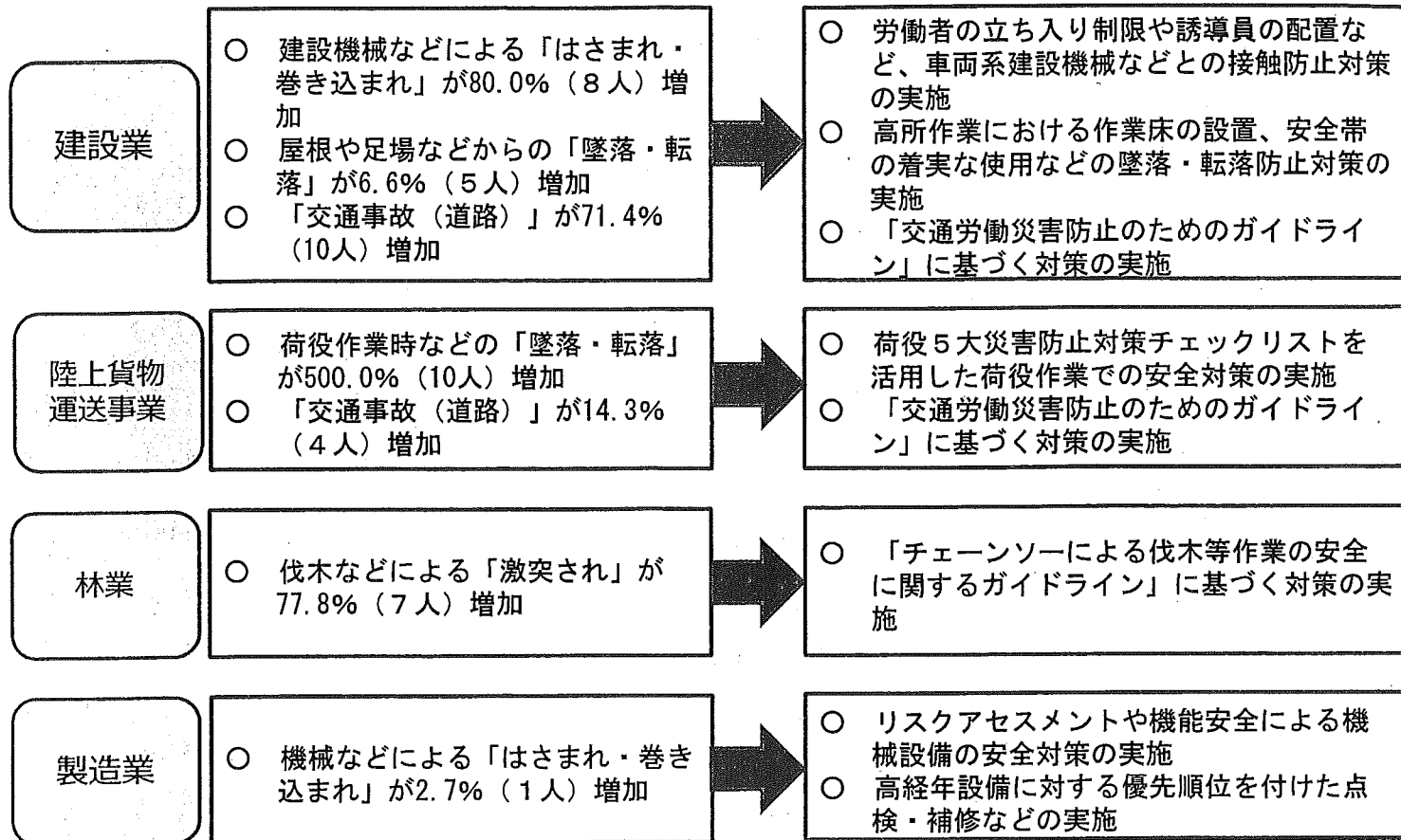


### 飲食店





# 死亡災害が増加している業種での取組のポイント



※数値は、平成29年1月～8月の死亡災害の速報値